

在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果(小規模多機能部会)

資料1－3

※研修会の参加者18名 アンケート回収17名（回収率94％）

1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	0
2	歯科医師	0
3	薬剤師	1
4	看護師	2
5	保健師	0
6	理学療法士	2
7	作業療法士	1
8	言語聴覚士	0
9	栄養士・管理栄養士	0
10	歯科衛生士	0
11	MSW	0
12	社会福祉士	5
13①	（訪問）介護職	0
13②	（通所）介護職	0
13③	（施設）介護職	0
13	（所属未回答）介護職	0
14	ケアマネジャー	3
15	その他	3
0	未回答	0
合計		17

2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院部会	0
2	医師会部会	0
3	歯科医師会部会	0
4	薬剤師部会	1
5	施設部会	1
6	デインット部会	0
7	ヘルパーネット部会	0
8	訪問看護ネットワーク部会	1
9	リハビリネット部会	2
10	ケアマネット部会	2
11	グループホーム部会	0
12	小規模多機能部会	1
13	町内会/民生委員等	0
14	保健福祉部会	5
15	その他（障害者サービス、行政等）	4
0	未回答	0
合計		17

3. 研修の反応

(1)わかりやすさ		人数
1	わかりやすい	12
2	まあまあわかりやすい	3
3	どちらでもない	2
4	あまりよく分からない	0
5	全く分からない	0
0	未回答	0
合計		17

(3)今後に活かせるか		人数
1	活かせる	8
2	部分的に活かせる	8
3	どちらでもない	1
4	あまり活かせない	0
5	全く活かせない	0
0	未回答	0
合計		17

(2)満足度		人数
1	満足	2
2	まあ満足	14
3	どちらでもない	1
4	やや不満	0
5	不満	0
0	未回答	0
合計		17

新しく学びに繋がった内容やアドバイス等ありましたらご記入ください。 17 件の回答

- ・安城市の小規模、看多機の現状を知ることができました。
- ・小規模多機能の悩みが分かった。相談するときの参考にしたい。
- ・小規模多機能、看多機の役割や思いを知る事が出来ました。
- ・小多機さん自身のケアに対する不安。小多機さんが関わられるようになると、まるごとお任せの感じになり、これはこれでいけないのだなと思いました。
- ・現状がよく分かった。
- ・生活支援コーディネーターと互いが何をしているか、まずは、知ることから始めたいと思いました。
- ・社協の方がおっしゃったように、「このようにすれば地域での生活が継続できた！」という事例があると皆さんに小規模多機能の役割が伝わってよいように思います。
- ・今後ともよろしくお願いいたします。
- ・小規模の事業所はよくやって下さる印象ですが、動きすぎてしまうと思われるところがなんだか申し訳なく感じた。本来ならば地域みんなで個人を支えていかないといけないのに、すべて押し付けられている感がありますね。
- ・連携の大切さです。
- ・お互いに連携していくことの大切さを再認識した。
- ・サービスとして最初に選択されることが、意外に少ないということ。
- ・家族を巻き込んで、もう少しケアやサービスをよりご本人にとって行っていくことが大切だと思った。
- ・お恥ずかしながら、看多機・小規模多機能ホームについて何も知りませんでしたので、こういうサービスがあることを知れて良い機会でした。ありがとうございました。
- ・他機関と連携することで負担軽減とよりよいサービスの向上につながると思います。
- ・家族支援が必要な事例が増えているのは居宅も同じで、それぞれの成功例など情報交換していければいいなと思いました。
- ・下記にいろいろ書きましたが、小規模多機能、看護多機能にはお世話になっているので、この良さが広く伝わればと思います。今後に期待しています。

今後、企画してしてほしい研修などがありましたらご記入ください。 4 件の回答

- ・事例の中で連携した関係者と一緒に支援した様子や動きが分かればもっと深まると思います。
- ・他の小規模や看多機がしていることについてもっと知りたいと感じた。
- ・地域との関わりや認知症の対応など
- ・中学校区レベルでよいので、包括と協働でケアマネジャー向けに研修等されてはどうか。相談してみてください。

ご意見・ご感想 17 件の回答

- ・お疲れ様です。勉強させていただきました。
- ・事例検討は継続し、具体策の検討までできるとよいかなと思いました。
- ・今後、連携をして活動に活かしていきたいと思います。
- ・ありがとうございました。関係機関にチームでぜひ支援をしていきたいなと改めて思いました。
- ・現状がよくわかりました。
- ・事例を通じてのテーマは、良かったと思います。
- ・勉強になりました。
- ・お疲れさまでした。生活支援コーディネーターはとにかく何をやっているのかわからないと言われる職種ですが、介護の事業所の皆さんと地域を結びつけるため、やれることは一緒に取り組んでいきたいと思います。研修を企画して下さいありがとうございます。ケアマネやリハ職など他の職種がいればもっと盛んな意見交換会になったのかなと思いました。
- ・看護多機能、小規模多機能の周知をこれからも継続してほしい。
- ・もう少し話し合う時間がほしかった。
- ・多様なサービスを切れ目なく提供するだけに、職員さんや運営面の負担は相当なものだと思います。制度面での限界はありますが、市として、これらを少しでも軽減する取組が必要だと感じました。
- ・進行のスタッフ様大変ありがとうございました。わかりやすかったです。
- ・いつもありがとうございます。
- ・介護について携わることが少ないので、現場のお話を聞くことだけでも勉強になります。
- ・もう少し業務の紹介と事例の詳しい説明をしてもらえるとありがたいです。
- ・小多機、看多機との関わりが少なく、今回の事例はとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。事例やその後のお話をお聞きして思ったのは、選ばれ方とケアの仕方に課題があるのかなと思いました。 選ばれ方は、第一選択であるに越したことはないですが、それにこだわる必要はないと感じます。小規模多機能、看護多機能の存在や機能を専門職が知っておくことが大切であり、その時の状況に応じて選択されるようになれば良いと思います。特に居宅のケアマネジャーが知っておくことが重要だと感じています。ただ単に利用者を増やしたいということであれば、第一選択になるための手法を別に考える必要はありますが。 ケアの仕方は悩むところですが、そうしないと生活が維持できないというのであればする必要はあると思います。我々包括もいつもその課題はあります。今思うのは支援者の自己満足にならず、生活を支える支援をする、その際の線引きを意識しています。なんでもできる事業所として見られており、自分たちで自分たちの首を絞めてしまうという言葉は現場の大変さを表しているなと感じました。ただ、そうみられることのメリット、デメリットもあると思います。依頼が入りやすくなる、きめ細かい支援ができるというメリット、職員が疲弊してしまう、常に困難事例と対峙していないといけない精神的なプレッシャーなどのデメリット。全国でどのように展開されているかわかりませんが、小規模多機能や看護小規模の職員として、何を目指しどのように事業を展開していくのかを部会で話し合っても良いのではないかと思います。

昨年も参加させていただき、今年も大変参考になりました。ただやはり居宅のケアマネジャーの参加がほぼなかったのは残念でした。この現状もお互いの状況を知り合っていないということなのかなと思います。ケアマネジャーとの連携について検討されても良いかなと思います。難しいそうですが。

私も経験がありますが、オンラインで意見を求めることはとても難しいので、あらかじめ意見を言えるような人をお願いしておくとなりに意見交換ができると思います。